ETQ30069

電　気　三　輪　車
ETQ シリーズ
取扱説明書

モービルジャパン
アイン工機　株式会社

〒983-0842

宮城県仙台市宮城野区五輪 2-1-5
ライオンズマンション五輪 103

TEL：022-297-6855　　FAX：022-297-6866

モービルジャパンの電気三輪車をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に留意し快適なドライブライフをお楽しみ下さい。

お車の引渡しについて

★　お買い上げになりましたなら、モービルジャパンまたは、その取扱店にてこの取扱い説明書を受け取り、下記の説明を受けてください。

- お車の正しい取り扱い方
- 保証内容と保証期間
- 点検・整備について
- 保証書の記入・捺印

運転免許について

★　電動三輪車を一般公道で運転するには、普通車の運転免許が必要です。ご自身の免許で運転できるか確認してください。

★　この電動三輪車を運転できるのは、**普通車免許**です。オートマ免許でも可能です。

★　この電動三輪車の乗車定員は、車種によって１人乗り(ETQ-1)、２人乗り(ETQ-3)です。

取扱説明書について

★　この取扱説明書には、電動三輪車の取り扱いかた安全な運転の仕方簡単な点検の方法などについて説明して有ります。

★　車の取り扱いかたを十分にご存じの方も、電動三輪車独自の装備や取扱いが有りますので、運転する前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

★　電動三輪車を譲られる場合、次の方にこの取扱説明書を、お渡し下さい。

★　電動三輪車の仕様、その他の変更により、この取扱説明書の内容と実写が一致しない場合が有ります。ご了承下さい。

★　取扱説明書は常時大切に保管してください。

尚、不明な点が有りましたなら、モービルジャパン又はお買い上げになりましたモービルジャパン取扱店まで、お問合せ下さいますようお願い致します。

安全運転のために

心のゆとりと正しい服装が安全運転のきめ手です。

焦らずにゆとりを持って、道路交通法を守り落ち着いた運転を心がけましょう。

- 運転者は、ヘルメットの着用は、法的には、義務はありませんが、安全のために着用しましょう。ヘルメットの着用は、アゴヒモを確実に締めるなど、正しく行って下さい。
  ヘルメットは、頭にしっくりと合って圧迫感のない物をお選び下さい。
  ヘルメットを正しく着用していないと、万一の事故の場合、死亡又は重大な傷害に至る可能性が高くなります。

● 運転者は乗車する時、保護具及び保護性の高い服を着用してください。くるぶしまで覆う靴の着用。摩擦に強い皮製の手袋の着用。長ズボンと長袖のジャケットの着用明るく目立つ色の動きやすい服装で尚且つ体の露出の少ない物を着用してください。裾の広いズボンや袖口の広いジャケットは、ブレーキ操作などの運動動作の妨げになり思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。

● シートベルトは法的には、要りませんが、特にお子様を乗せる時には必ず安全のためにシートベルトを締めましょう。

運転する前に

● 日常点検を行って下さい。

電動三輪車は常に清潔に手入れをし、定められた点検整備を必ず行いましょう。
日常点検は、電動三輪車を使用する方が１日１回運転する前に実施する点検です。
安全快適にお乗りいただくために必ず実施してください。

この車に適用される点検項目は、下記「日常点検項目」です。

日常点検項目

○　ブレーキ　　・　ブレーキレバーの握りしろが適切であること
・　ブレ-キの効きが十分であること
・　ブレーキ液の量が適切であること

○　タイヤ　　・　タイヤの状態が適切であること
空気圧・亀裂、損傷・異常な磨耗・溝の深さ

○灯火装置及び方向指示器

○運行において異常が認められた箇所

○バッテリー（モービルジャパン指定点検項目）

・充電電圧　　バッテリーの充電が適正かどうか確認してください。

荷物

荷物を積むと、積まない時に比べてハンドルの感覚が少し変わりますから注意が必要です。積み過ぎると、ハンドルがふられ運転を誤ることが有りますので、積み過ぎに注意しましょう。

○　コンビニフックには、車体からはみ出したり、足に当たるような大きな荷物等は掛けないで下さい。インナーラックから荷物がはみ出さないようにしてください。走行やハンドル操作に支障をきたすことが有ります。

○　ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作が出来なくなる場合が有りますので物を置

かないで下さい。

○　ヘッドライトレンズの前を荷物等で遮らないようにしてください。過熱によりレンズが溶けたり、荷物等まで損傷する場合が有ります。

○　石や鉄片など、硬くて重い物を入れたまま走行しないで下さい、積載重量以内でもトランク本体や車体が損傷する場合が有ります。

○　荷物は指定の場所以外には積まないようにしてください。カバー等が破損することが有ります

　荷物の積載は下記重量までです。

　　インナーラックとコンビニフックの合計：　1.0Kｇ

　　シート下トランク：　7.0Kｇ

　　リヤキャリア：　30Kｇ（リヤボックス含む）

乗り方について

○　メインスイッチの操作は、座席に腰を掛けて、安全を確認してから操作してください。

○　走行中は、運転者は両手でハンドルを握り、両足をフロアステップに置いて下さい。

○　急激なハンドル操作や、片手運転は危険ですので避けてください。

○　走行中の携帯電話の使用はお止め下さい。使用の際は安全な場所に停止してから使用してください。

○　急激なスロットルの開閉操作（スナッピング）は故障の原因となります。

駐車

○　サイドブレーキを掛けてから。

○　盗難防止の為、車から離れるときには必ずハンドルロックをかけ、キーを抜いてください。

　メインスイッチのキーは必ずお持ち下さい。

○　水平でしっかりした地面の場所に駐車してください。

○　交通のジャマにならない安全な場所を選んで駐車しましょう。

○　やむを得ず傾斜地や砂利等を敷いた所、でこぼこな所、地面の軟らかい所等に駐車せざるを得ないときには、車の転倒・動き出しの無いように、安全処置に十分留意してください。

改造

○　車の構造や機能に関係する改造は、操縦性を悪化させたり、ひいては車の寿命を縮めることがあります。不正改造は法律に触れることは勿論、他の迷惑行為となります。

このような改造に起因する場合は、保証修理等受けられません。

地球環境の保護について

お車及び部品などの廃棄をするとき

○　地球環境を守る為に、使用済みのバッテリーやタイヤ等はむやみに捨てないようにしてください。これらの物を廃棄する場合、モービルジャパンまたはモービルジャパン販売店にご相談下さい。また、将来お車を廃車する場合も同様です。お車の廃棄を希望するときには、お近くのモービルジャパンもしくはモービルジャパン販売店にご相談下さい。

バッテリーの取り扱いかた

バッテリーの保管、及び使用は周囲温度が　－１０℃以下、又は４０℃以上では行わないで下さい。

充電するときは、周囲温度が　０℃以上３０℃以下で行うようにしてください。
温度範囲以外ではバッテリーの破損、変形、早期劣化等の原因となります。

バッテリーは、密閉式のメンテナンスフリーバッテリーを使用していますので液の補充等は必要有りません。むやみに上蓋を開けないようにして下さい。

バッテリーは、メインスイッチが「ＯＦＦ」の状態でも、多少の自己放電をしていますので、使用しない場合でも１ヶ月に１～２回充電し常にフル充電して置いてください。

外気温が低い場合、バッテリーの性能が十分に引き出せない場合があり、走行距離が短くなったり、速度が出ない場合があります。

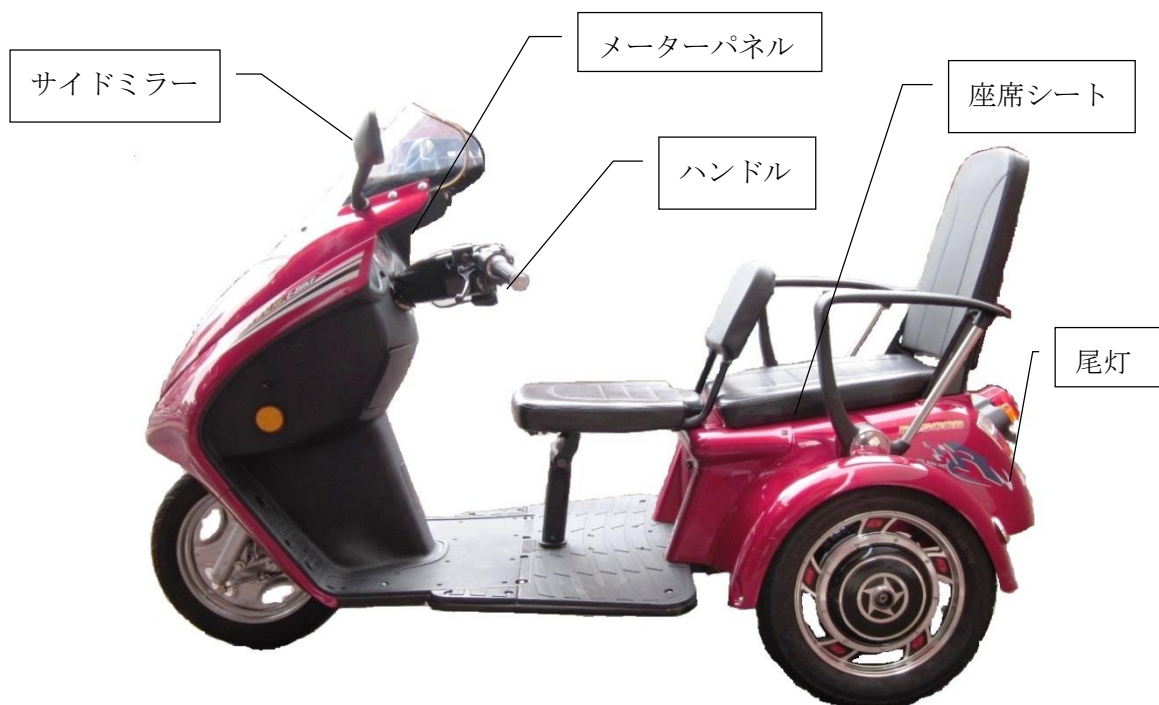
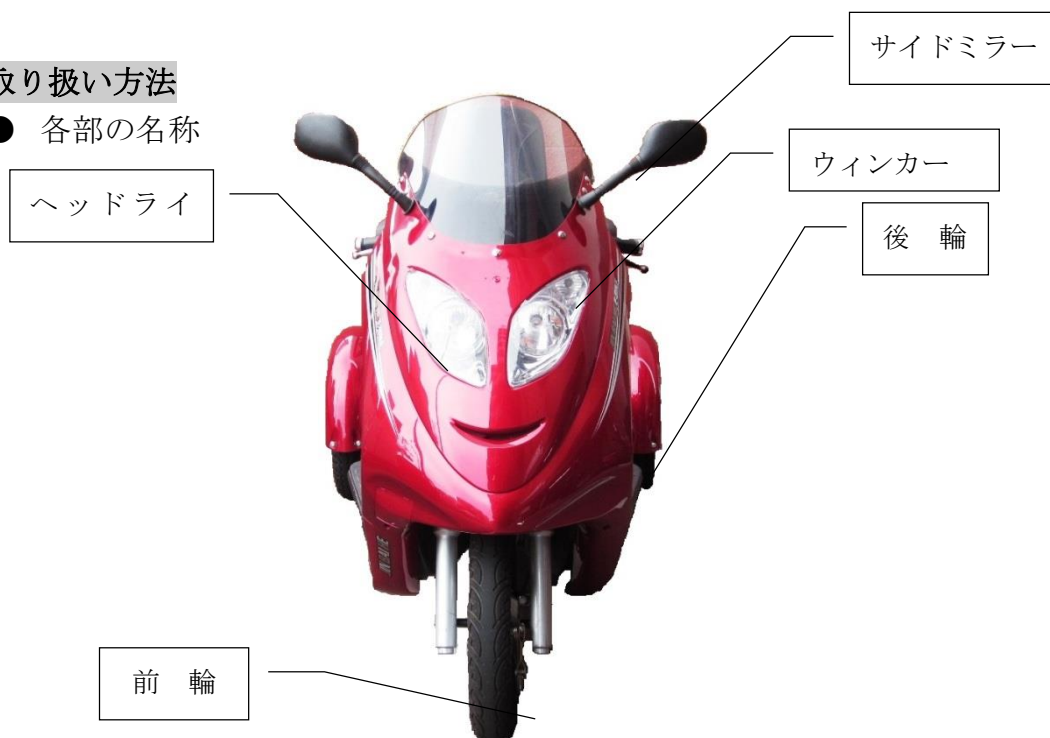
バッテリーの交換、修理、メンテナンス等が必要な場合は、モービルジャパンまたはモービルジャパン販売店に相談してください。

取り扱い方法

● 各部の名称

リヤウィンカーランプ
後　輪
ストップ&テールライト

○　メーターパネ

サイドミラ
充電中表示灯
コンビネーションパネル
スピーカー
フロンドブレーキ
(ストッパー付)
リヤブレーキ
アクセルクリップ
ハンドルスイッチ
ラジオ&MP3プレーヤー
バックスイッチ

1:　コンビネーションパネル

・走行中の速度を示します。速度を守り安全走行してください。
　Km/h で表示します。
・電池残量(電圧)を表示します。
・積算距離計（オドメーター）
　走行した総距離を Km の単位で表示します。
・バッテリー残量計
　バッテリーの電圧を示します。
　55V 以下表示すると、充電が必要です。
　走行中、負荷がかかった状態での表示がバッテリーの電圧の残量となります。

・方向指示器表示灯
　液晶パネルの左右上方に表示します。方向指示スイッチの操作により左折または右折を音と点滅で知らせます。
・充電表示灯
　充電中、満充電の状態を表示します。
　充電中：赤色点灯　　満充電：緑色点灯

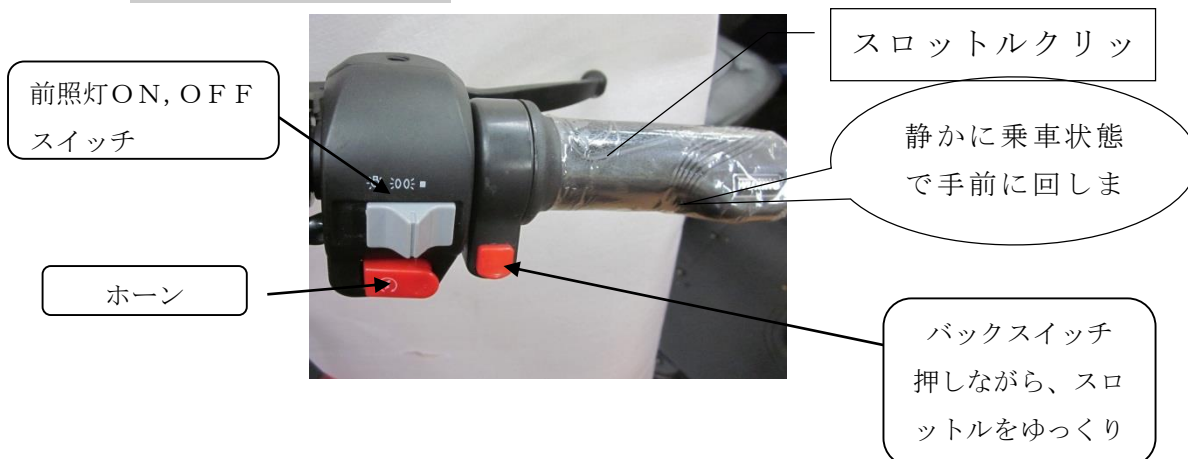
○　キースイッチ

● 電源スイッチ

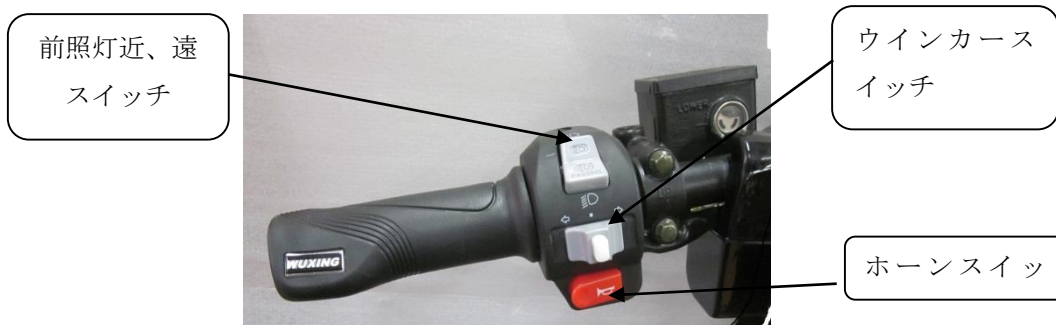
キーを差込み「LOCK」-「OFF」-「ON」へ回します。

- 「ON」：電源が入り走行出来ます。
- 「OFF」：電源が切れます。
- 「LOCK」：ハンドルを右に切り、キーを左に回すとハンドルロックされます。

＊ 標準としてキーは2本付いていますので、1本はスペアーキーとして大切に保管して下さい。

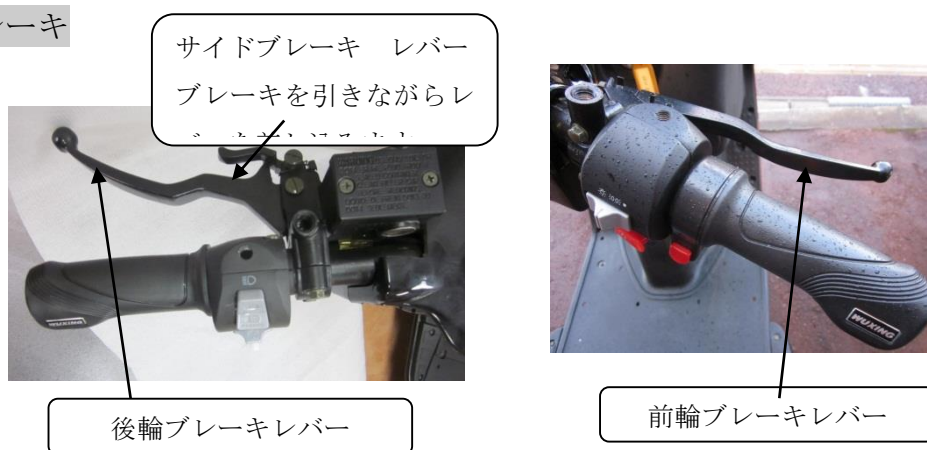
● スロットルグリップ

- 静かに手前に回すとスタートします。
- グリップの回し加減で速度を調節します。
  グリップを戻すと、速度が遅くなります。

●急激なスロットルの開閉操作（スナッピング）は故障の原因となります。

● ウインカースイッチ

- 進行方向を変える時、右左折時などウインカーランプを点滅させます。運転者の進みたい方向を表示させます。
- スイッチを左右に押すとウインカーランプが点滅と同時に操作盤の表示灯、点滅及びブザーが鳴ります。
- 真中を強く押すと解除されます。

● ホーン　スイッチ

- 自分のまわりに、存在を知らせます。
- ホーン　スイッチを押すと鳴ります。放すと止まります。

● ブレーキ

- スロットルグリップを戻してから、ブレーキレバーを握りますと停止します。
- 制動力を効果的に得るためには、前後ブレーキを同時に使用すると効果的です
- “はじめやんわり、あときつく”がブレーキの上手なかけかたです。
- 電流の過負荷防止の為に、ブレーキレバーを握ったままでは、スロットルグリップを回しても、電動モーターは回りませんので発進は出来ません。

● 座席

運転席と、後部座席の構造になっています。

後部座席には、シートベルトがついていますので、お乗りになった際に、必ずシートベルトをお締めしてください。

●後部座席の下にバッテリーとトランクがあります。

トランクへの最大荷物重さ：約 10Kg です。

● ブレーカー

トランク内部にあります。故障などで電流が過負荷の時、自動で電源を遮断します。この時には手動で元に戻して下さい。長い上り坂では働く場合があります。ブレーカーが元の状態に戻らない時には、モービルジャパンまたはモービルジャパン取扱店までご連絡下さい。

＊ キーをトランクに置き忘れた状態で座席を下げるとロックされ取り出すことが出来なくなりますのでご注意ください。

◎ 正しい運転の仕方

● **電源スイッチを「ON」にする時には、座席に腰を掛けて、安全を確認してから行ってください。**

● **電源スイッチが「ON」になっていることを忘れてアクセルにふれると急に走り出す危険があります。**

● 座席が正しく装着されているか確認して下さい。バックミラーが後方の確認を出来るように確認調節して下さい。
● キーを差込み電源スイッチを「ON」にします。
● バッテリー残量計で残量確認し、不足時は充電後使用してください。
● 発進走行
● 前後、左右の安全を確認して下さい。
● スロットルグリップを手前にゆっくり回してください
● スロットルグリップを急に回すと急加速して危険です。
● 走行中は、電源スイッチを切らないで下さい。
● カーブ走行の時は、スピードの出し過ぎに十分注意して下さい。

● 正しい走り方

○ スタート前に方向指示器スイッチで合図を出し、後方の安全を確認してからスタートしてください。

○ 速度調整は、スロットルグリップで行います。

○ 手前に回すと速度は速くなりますがゆっくり回してください。
戻すと速度は遅くなります、すばやく戻してください。

○　不必要な急ブレーキは避けて下さい。タイヤをロックさせ車体の安定性を損なう恐れがあります。

○　雨の日や路面が濡れているところでは、晴天時よりブレーキ停止距離が長くなります。速度を落として走り、早めにブレーキを掛けるなど余裕を持って操作して下さい。

○　下り坂では、スロットルグリップを戻して、速度に応じてブレーキを掛けながらゆっくり走ってください。

○　連続的なブレーキ操作を避けて下さい。ブレーキ部の温度上昇の原因となり、ブレーキの効きが悪くなる恐れが有りますので避けて下さい。

○　水たまりを走行した後や雨天走行時には、ブレーキの効き具合が悪くなる事があります。

水たまりを走行した後などは、安全な場所で周囲の交通事情に十分注意、低速で走行しながらブレーキを軽く作動させて、ブレーキの効き具合を確認して下さい。もし効き具合が悪い時はブレーキを軽く作動させながら、しばらく低速で走行し　ﾌﾞﾚｰｷを乾かして下さい。

○　雪道や凍った道はすべりやすので十分に気を付けて、走行しましょう。

○　止まる地点が近づいたら早めに方向指示器スイッチで合図し、後方や側方の車に注意し、徐々に左によります。

○　スロットルグリップを戻して、早めに左右のブレーキレバーを引きブレーキを掛けましょう。

制動灯（ストップランプ）が点灯し、後車への合図になります。

● 停止　及び　駐車

- ● スロットルグリップを戻してブレーキレバーを握ります。
- ● 駐車する場合は周囲に迷惑のかからない場所に移動し、サイドブレーキを掛け駐車させて下さい。

- ● 電源スイッチを「OFF」にし、キーを抜きます。

● 正しい駐車のしかた

- ○ 完全に車が止まったら、サイドブレーキを掛け、方向指示器スイッチを戻し、電源スイッチのキーを「OFF」の位置にし、キーを抜きます。走行中にすると、思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず停車してから操作して下さい。
- ○ 電動三輪車は無音、無振動です。電源スイッチが「ON」になっている事を忘れて、アクセルに触れると走り出す危険があります。
- ○ 盗難予防のため、駐車するときは必ずハンドルロックを掛け、メインスイッチのキーを抜きます。

ハンドルを右に切り、左に回すとハンドルロックが掛かります。

電源スイッチ

◎　　充電の仕方

● 充電の仕方と注意点

- ● 電源スイッチを「OFF」にし、キーを抜きます。
- ● 標準装備の充電コードを取り出し、充電コードを差込み口にしっかり奥まで差しこんでから、片方のプラグを家庭用の AC100V コンセントに差し込んでください。
- ● 充電時間は、バッテリーの状況、また気温等の環境により異なりますが、約 2～8 時間です。
- ● バッテリーが新しい時は、充電時間は約 8 時間掛かります。
- ● 充電が完了すると、充電機能は自動的に停止します。
- ● 電源プラグを抜く時は、コードをもたず電源プラグの先端をもってぬいて下さい。又プラグの抜く順序は AC100V の方を抜いてから本体側プ

ラグを抜いて下さい。

- バッテリーは電源スイッチ「OFF」の状態でも、多少の自己放電していますので、1ヶ月に1~2回充電し常に満充電にして置いてください。

- 充電器

予めに、車体に内蔵されています。メーターパネルに充電表示ランプがついていますので、充電するかどうかを確認できます。

注意： 充電コード、プラグなどは電気製品なので、差し込む際に濡れた手など

で持つことは、絶対にやめてください。

また、コードを持ってひっぱったりしないでください。

- タイヤ
  - タイヤの溝の深さをデプゲージ等で測ります。規定値（5mm）以下の場合は交換して下さい。

測定は販売店等に相談してください。

タイヤサイズ
3.00-10

タイヤの摩耗
状態を表示

- タイヤの空気圧　　2.0~2.2 Kgf/cm²
- ブレーキ
- ブレーキレバー調節

ブレーキレバーを引いた時遊びが 6～8mm 内に成らない時は調節する必要が有りますので販売店に相談してください。

後輪デイスクブレーキ

前輪ブレーキアジャスター

● アジャシタの凹部は、半回転ごとにピンの凸部に一致します。
調節後は一致していることを確認して下さい。

● 保管

- ● お車は出来るだけ自宅の敷地内に保管し、屋外の時は雨など濡れない場所に保管してください。

●大事なお車を守るには日頃のメンテナンスが重要です。

- ● 長期間保管する時は、必ず満充電にして下さい。
- ● バッテリーは電源スイッチが「OFF」の状態でも、自己放電しています、一ヶ月に 1~2 回充電して満充電の状態にして下さい。

◎　　日常点検　及び定期点検整備

電動三輪車をご使用の方の安全とお車を快適にご使用いただくため
法令により、ご使用前の日常点検と6ヶ月、12ヶ月毎の定期点検整備を行うことが義務づけられています。
かならず実施して下さい。

● 日常点検

● **お車を使用する人が、運転する前に実施する点検です。**

点検箇所	点検内容
ハンドル	緩み・ガタはありませんか？
	左右スムーズに動きますか？
スロットルグリップ	正常に作動しますか？
モーター	モーターの回転音に異常はありませんか？
ホーン	ホーンは鳴りますか？
ウインカーランプ	ランプは点灯しますか？警告音は鳴りますか?
後方点滅灯	ランプは点滅しますか？
ブレーキレバー	ブレーキは効きますか？
	レバーの遊びは適切ですか？
バックミラー	汚れ・損傷はありませんか？
バッテリー残量計	ランプが点灯しますか？
	（バッテリーの残量は充分ですか？）
ヘッドランプ	ランプ点灯しますか？
	汚れ・損傷はありませんか？
ナンバー用ランプ	ランプ点灯しますか？
座席	座席は正常ですか？
	緩み、ガタつき？
タイヤ	亀裂・損傷はありませんか？
	タイヤの溝の深さは適切ですか？
	金属片・石等の異物がささっていませんか？
	空気圧が適正ですか？（2.0~2.2Kgf/cm2）

定期点検記録簿　　　　　　NO-1

安全の為、購入後６ヶ月 12 ヶ月毎にモービルジャパンまたはモービルジャパン取扱店で点検（有料）を受けてください。

ＯＫ：異常なし　Ａ：調節　△：修理　Ｘ：交換　Ｔ：締付　Ｃ：清掃　Ｌ：給油

定　期　点　検		3 ヶ月 点検 (無料)	6 ケ月 点検 (有料)	12 ヶ月 点検 (有料)
点検工場				
操作ボックス	アクセルレバーの作動、戻り具合			
	スイッチの作動具合			
	コネクター接続部の緩み、損傷			
メインコントローラー	コネクター接続部の緩み、損傷			
モーター電動ブレーキ	回転・異音			
	電磁ブレーキのきき具合			
	コネクター接続部の緩み損傷			
バッテリー	ターミナルの締め付け・腐蝕			
	コネクター接続部のガタ・損傷			
充電器	充電機能			
	コネクター接続部のガタ・損傷			
	ランプの点灯			
	コードの損傷			
	ファンの回転・異音			
ブレーキ	手動ブレーキレバーとスットパーのすき間			
	手動ブレーキレバーの遊び			
	ブレーキランプの点灯			
	手動ブレーキのきき具合			
	ブレーキケーブルの緩み・損傷			
	ブレーキシュー摺動部・ライニングの摩耗			
	ブレーキドラムの摩耗・損傷			
ハンドル	ハンドルの操作具合・緩みガタ			
	左右の操舵角度			

	ステアリングシャフトの取り付け具合損傷			
	ステアリングシャフトの軸受部のガタ、ｽﾄｯﾊﾟｰの損傷、サビ			
	座席の汚れ及び損傷			
シート	取り付け部の損傷			
	スットパーの変形・摩耗			
	センサーの緩み・ガタ			
	タイヤの亀裂・損傷			
タイヤ	タイヤの溝深さ・異常摩耗			
	空気バルブの損傷			
	空気圧の適正			
	ボルト・ナット類の緩み			
ホイール	ホイールの損傷			
	ボルト・ナット類の緩み			
サスペンション	サスユニットの損傷			
	サスペンションの作動具合			

● 困った時は、こんな時は

困った時　NO1	
症状	チェックポイントと対応策
発進しない	電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ ブレーカーが「OFF」になってませんか？ ↓ 電源スイッチを「ON」にして下さい。
	バッテリー容量がありますか？ ↓ バッテリーの充電を行って下さい。
	充電器用電源プラグは抜きましたか？ ↓ 電源プラグを抜き、コードを収納して下さい。
	バッテリー容量がありますか？ ↓

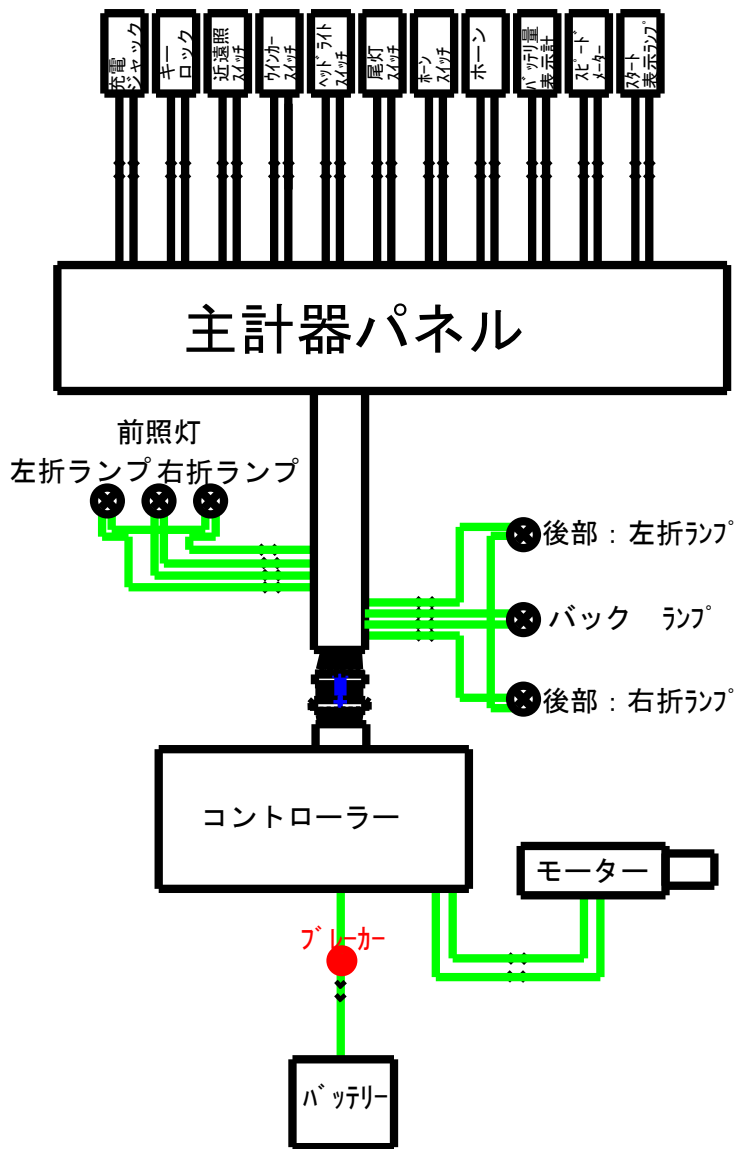
	バッテリーの充電を行って下さい。
その他	その他正常でないと思われる時には、モービルジャパンもしくは、モービルジャパン販売店にお問い合わせ下さい。

● 諸元表

主要諸元表	
表品名	ラビット 3
形式	ETQ-3
長さ	2020 mm
幅	880 mm
高さ	1170mm
本体重量	135Kg
乗車定員	2 人
モーター	1000W　×　2 ケ
バッテリー	12V 25A　×　5 ケ
充電器	AC-110V
前　輪	3.00-10
後　輪	3.00-10
駆動方式	後輪ダイレクト駆動方式
制動方式	前輪　機械リーディング式ドラム
	後輪　油圧式ディスク
連続走行距離	約 60Km（30Km 定地走行テスト値）
最小回転半径	1800mm

この取扱説明書は､仕様変更などによりイラストや写真及び内容などが一部実車と異なる場合があります。

電気系統図

充電ジャック
キーロック
近遠照スイッチ
ウインカースイッチ
ヘッドライトスイッチ
尾灯スイッチ
ホーンスイッチ
ホーン
バッテリ量表示計
スピードメーター
スタート表示ランプ
主計器パネル
前照灯
左折ランプ
右折ランプ
後部：左折ランプ
バック　ランプ
後部：右折ランプ
コントローラー
モーター
ブレーカー
バッテリー

保　証　書

1.　保証の内容

お買い上げいただいた弊社製造のお車を構成する各部品に材料又は構造上の不具合が起きた場合、この保証書に示す、期間と条件に従って、これを無償修理いたします。（以下この無料修理を保証修理といいます。）保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。なお取り外した部品等は弊社の所有となります。

2.　保証期間

保証期間　　車を登録又は届出をした日から１年間もしくは、5.000Ｋｍ
バッテリーに関しては、６ヶ月

保証対象部品　　車両を構成する全部品、ただし下記を除く

- 消耗部品および油脂類
- 別扱い保証の部品

下記の消耗品の交換は、実費を頂きます。
ブレーキパッド・ブレーキシュー・ランプ・バルブ類・ヒューズ
モーター類のブラシ･ワイパーブレード・パッキン類・ゴム類
などこれに類するもの。

3.　別扱い保証

次に示す部品は､この保証書とは別にそれぞれの部品メーカーが定めた保証基準に従って保証されます｡お買い上げいただいたモービルジャパンもしくはモービルジャパン取扱店にご相談下さい。

①　タイヤ・チューブ　　②アクセサリー用品等

4.　保証できない事項

1　次に示す事項は保証修理致しません。

①保守、整備の不備又は間違いに起因する不具合

②取扱説明書に示す取扱い方法と異なる使用及び弊社が示す使用の限度（最大積載
量・乗車定員・その他）を超える使用に起因する不具合

③法令に違反する改造及び弊社が認めていない改造（車高の変更・灯火器の減、増
設・バッテリー容量の変更など）に起因する不具合

④レース･ラリー等による酷使あるいは一般に車が走行しない場所での走行に起因
する不具合

⑤純正部品及び指定する油脂類以外の使用に起因する不具合

⑥時の経過で発生する不具合（塗装面などの自然退色・メッキ面などのサビ・その他）

⑦機能上影響の無い感覚的な現象（音・振動・オイルのにじみなど）

⑧地震・台風・水害などの天災、事故及び火災に起因する不具合

⑨煤煙・薬品・鳥糞・塩害などに起因する不具合

⑩後記５の『お客様にお守りいただく事項』を守らなかったことに起因する不具合

2　次に示す費用は負担いたしません

①法令に定められた継続検査に伴う点検整備の費用

②点検・清掃及び法令で定められた定期点検整備の費用

③モービルジャパンおよびモービルジャパン取扱店以外での修理費用

④使用により消耗した部品及び油脂類等の交換補充の費用

⑤お車を使用できなかった事による不便さ及び損失など（電話代・レンタカー代・休業補償・商業損失など）

⑥この保証書に示す以外の費用・補償など

5.　お客様にお守りいただく事項

お車を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ず守ってください。

守られていない場合には、保証修理をお断りすることが有りますので、ご承知下さい。

①取扱説明書に示す取扱い方法に従って使用すること
②日常点検を実施すること
③法令及び弊社の指定する点検整備を実施すること
④定期交換部品、及び油脂類などを指定どおりに交換すること

6. 保証の発行

この保証書は、お買い上げいただいたモービルジャパン及びその取扱店が保証登録書に必要事項を記入し、捺印することにより有効となります。

7. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お車とこの保証書を、お買い上げのモービルジャパン及びモービルジャパン取扱店へお持ち下さい。
これにより保証修理を致します。提示されない場合は、保証修理いたしかねます。

8. 保証の適用

この保証書は、日本国内で販売し使用されるお車にのみ適用いたします。従って海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りとなります。

この保証書は、本書に示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものです。従って保証期間経過後に発生した不具合については、この保証書に基づく保証修理の適用はありません。
ただし、保証期間経過後の不具合が使用損耗あるいは、経時変化によるものではなく、供給者側の責任に起因する場合には、その責任に応じて修理を致しますので、ご不明な点が有りましたならお買い上げのモービルジャパン及びモービルジャパン取扱店（または弊社ご相談窓口）にご相談下さい。

保証について
保証修理
材料上あるいは製造上の不具合が発生した場合には、無償で修理させていただきます。
期間は、登録または届出した日から１年間もしくは、走行距離 5.000Ｋｍ
バッテリーに関しては、６ヶ月
保障期間中に発生した修理等で掛かる工賃等について、モービルジャパン及びモービルジャパン取扱店で行う場合は無償となりますが、他店で行った場合の工賃等は保証出来

ませんのでご了承下さい。

尚、保証修理期間中の無償修理の場合でも、車両の送料、又は出張費用等お客様のご負担となる場合が有ります

下記の消耗品の交換は実費を頂きます。

ブレーキパッド　ブレーキシュー　ランプバルブ類　ヒューズ　モーター類のブラシ
ワイパーブレード・パッキン類　ゴム類　　などこれに類するもの

下記の油脂類の補充、交換は実費を頂きます。

ブレーキフルト　グリス　バッテリー液　ラジエーター液　その他の潤滑油
などこれに類するもの

保証修理の受け方

1　保証修理をお受けになるときは必ず保証書をご提示下さい。提示がない場合は保証修理を致しかねます。

2　お買い上げのモービルジャパンまたはモービルジャパン取扱店に保証修理をお申し付け下さい。ただし、お申し付けになる前に保証書の内容（特に保証できない事項）を良くお読み下さい。